

みやき町 山田地区

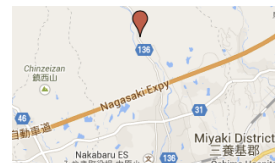
石積の棚田で地元組合が
つくる黄色いヒマワリと
鷹取山ハゼの紅葉の風景。



01 風景をつくる人たち
中山間地山田集落組合
(平成12年設立)



02 おすすめの時期
10月下旬～12月上旬



03 棚田の場所
みやき町大字蓑原
(地図拡大する)

晩秋に咲くひまわり



地域の結束力で咲かせ続けたい。

青い空、ハゼの紅葉、黄色いひまわりのコントラストが美しいみやき町山田地区の棚田。

平成13年から、同地区の農業者でつくる中山間地山田集落組合が休耕田でひまわりを栽培しており、毎年8月上旬から田おこし、種まきは計3回と18人の組合員で約10万本を育てる。

耕作中の野鳥による被害も困りものだが、一番の悩みは、66歳という組合員の平均年齢の高さと後継者不足。しかし、組合代表の眞子さんは、県内各地からの先進地視察や県外が半数を占める顔なじみの来場者、メディアからの取材など、多くの反応を得られることがうれしい、今後も可能な限り継続していきたいという。

この風景は12月上旬まで。タイミングが合えば、雪をまとったひまわりを見ることができるともかもしれない。

写真提供：みやき町、組合代表眞子さん



種まき



手入れ



ひまわり園開園